

津山市の環境報告書

平成27年度版

(平成26年度実績報告・平成27年度行動計画)



津 山 市

はじめに

今日、私たちは、地球規模での環境問題に直面しています。なかでも地球温暖化は、その影響が国境を越えて広がる深刻な問題です。その原因である温室効果ガスの排出削減も、当然ながら一つの国だけではなく、世界各国が協力して取り組まなければなりません。

こうした環境問題は、持続的な社会の発展を妨げる要因にもなっています。国際的な連携だけではなく、地域において私たち一人ひとりが問題解決に向け、取り組んでいくことも大切なことです。

本市におきましては、本年4月に組織機構の変更を行いました。新エネルギー環境政策室から低炭素都市推進室への名称変更もその一つです。低炭素社会へ向けた取り組みを進めるため、市民協働発電所事業やカーボン・オフセット事業、超小型モビリティ導入促進事業などを行っています。

再生可能エネルギーの導入推進や省エネルギーの普及啓発も含め、こうした取り組みが、本市の目指すべき都市像である「自然ゆたかな環境共生都市」の実現に向けた根幹になると考えておりますので、皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

この環境報告書は、津山市環境基本計画に基づき、平成26年度における本市の環境の現状や環境施策の進捗状況と、平成27年度の行動計画をまとめています。市民の皆様に、環境問題をより身近なものとして考えていただくために、御活用いただければ幸いです。

平成27年12月



津山市長 宮地 昭 範

津山市環境報告書もくじ

第 1 章 津山市の環境の現状

- 1 環境の現状を伝える意義・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 「ビジョン」ごとの環境の現状・・・・・・・・・・・・・・1
 - 自然・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 - まち・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - ひと・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - 循環・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

第 2 章 平成 2 6 年度の環境基本計画の実施状況とその評価

- 1 年次報告の意義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- 2 「ビジョン」ごとのプロジェクトの実施状況と評価・・・・・・・・10
 - 自然・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
 - まち・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
 - ひと・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
 - 循環・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

第 3 章 平成 2 7 年度の行動計画

- 1 年次行動計画の意義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
- 2 「ビジョン」ごとの年次行動計画・・・・・・・・・・・・・・17
 - 自然・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
 - まち・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
 - ひと・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
 - 循環・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

第1章 津山市の環境の現状

1 環境の現状を伝える意義

この章の目的は、津山市の環境の現状を調査分析することで、市が抱えている環境問題を認識し、その問題を解決すべき課題として抽出することにあります。課題を抽出し、課題の解決に向けた目的目標の設定をすることで、達成するための計画の立案(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、見直し(Action)といった一連のプロセスの繰り返し(PDCAサイクル)により、環境の改善が図られることとなります。

この章では、環境基本計画の「ビジョン」の区分毎に環境の現状を明らかにし、問題の分析をしています。

2 「ビジョン」ごとの環境の現状

自然

主な山岳・・・

中国山地の南面傾斜地として、1,000～1,200mの山々が、緑豊かな地域を形成しています。また、津山市北部は氷ノ山後山那岐山国定公園に指定されています。

山岳名	標高	位置
天狗岩	1196.6	加茂町倉見・苫田郡鏡野町境界
滝山	1196.5	大吉・勝田郡奈義町境界
三十人ヶ山	1171.7	加茂町倉見・苫田郡鏡野町境界
角ヶ山	1152.7	加茂町倉見・苫田郡鏡野町境界
広戸仙	1115.0	大吉・奥津川
大ヶ山	989.8	加茂町倉見・加茂町知和・阿波
桜尾山	956.3	加茂町物見・鳥取県境界
公郷仙	862.0	加茂町公郷・加茂町下津川
大釈山	848.2	加茂町公郷・加茂町知和・加茂町下津川
天狗寺山	831.8	大篠・加茂町行重・加茂町成安
山形仙	791.1	新野山形・奥津川・西上
甲山	777.0	大吉
矢筈山	756.4	加茂町山下・加茂町知和
釈山	753.1	加茂町物見
入道山	752.3	上横野・苫田郡鏡野町境界
鳥山	701.0	大篠・吉見・綾部
寺山	681.6	加茂町青柳・加茂町戸賀・加茂町黒木
黒沢山	668.0	東田辺
矢倉山	659.5	宮部上・真庭市・苫田郡鏡野町境界

資料 岡山県統計年報

主な河川・・・

津山市中心部を一級河川吉井川が貫流し、これに加茂川や広戸川、皿川、久米川などの支流が交わり、水資源に恵まれています。

河川名	上流端	下流端	総延長 (m)	
吉井川	苫田郡鏡野町	岡山市	133,274	
支川	広戸川	津山市	18,045	
	加茂川	津山市	38,455	
	倉見川	津山市	17,000	
	皿川	久米郡美咲町	津山市	14,243
	久米川	津山市	津山市	12,368

資料 岡山県統計年報

空気・・・

自然にめぐまれた津山の空気は、県南の都市部に比べ、きれいな質を保っています。

岡山県による測定結果を見ても「望ましい環境」の基準を示す環境基準に照らし合わせても、適合しない日はほとんどない状況です。

年度	二酸化硫黄			二酸化窒素			浮遊粒子状物質		
	年平均値 (ppm)	1時間値が 0.1ppmを 超えた時間 数 (時間)	日平均値が 0.04ppmを 超えた日数 (日)	年平均値 (ppm)	1時間値が 0.2ppmを 超えた時間 数 (時間)	日平均値が 0.06ppmを 超えた日数 (日)	年平均値 (mg/m ³)	1時間値が 0.20mg/m ³ を 超えた時間 数 (時間)	日平均値が 0.10mg/m ³ を 超えた日数 (日)
平成21年	0.002	0	0	0.007	0	0	0.025	4	1
平成22年	0	0	0	0.007	0	0	0.025	3	1
平成23年	0.002	0	0	0.006	0	0	0.024	0	1
平成24年	0.001	0	0	0.006	0	0	0.025	0	0
平成25年	0.001	0	0	0.006	0	0	0.025	0	0

資料 岡山県環境保健センター

環境基準達成状況

対象物質	基準	達成状況
二酸化硫黄 (SO ₂)	日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	基準値を満たしている。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下であること。	基準値を満たしている。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が、0.10mg/m ³ 以下で、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。	数件の不適合が検出される年もあるが、黄砂等突発的な要因と推察される。

河川水質・・・

河川の水質は、下水道や合併処理浄化槽などの汚水処理施設が整備されるにつれて改善しています。市では、河川17箇所(うち環境基準類型指定水域12箇所)、中小河川51箇所の水質を検査しています。

環境基準達成状況

対象	測定項目	環境基準値		水質検査回数	環境基準達成状況
		類型A	類型B		
河川水質検査 (17箇所、うち環境基準類型指定A6箇所、類型指定B6箇所)	水素イオン濃度 (pH)	類型A	6.5以上8.5以下	年2回	100%
		類型B	6.5以上8.5以下		100%
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	類型A	2mg/ℓ以下		100%
		類型B	3mg/ℓ以下		100%
	浮遊物質 (SS)	類型A	25mg/ℓ以下		100%
		類型B	25mg/ℓ以下		100%
	溶存酸素量 (DO)	類型A	7.5mg/ℓ以上		100%
		類型B	5mg/ℓ以上		100%
	大腸菌群数	類型A	1,000MPN/100ℓ以下		25.0%
		類型B	5,000MPN/100ℓ以下		33.3%
中小河川水質検査 (51箇所)	pH(水温)、BOD、DO			年2回	

MPN(most probable number) :

最確数。大腸菌群の数値を確率的に算出する方法を用いて推定した数に用いる単位。

資料 市環境生活課

地下水・・・

市では、地下水の測定を毎年行いますが、平成26年度の結果は以下のとおりです。

環境基準達成状況

測定項目	測定結果	環境基準値
	綾部市内	
六価クロム	< 0.02	0.05mg / l以下
ふっ素	0.09	0.8mg / l以下
トリクロロエチレン	< 0.002	0.03mg / l以下

<・・・定量下限値未満

ダイオキシン類・・・

環境中にあるダイオキシン類

の量を把握するため、岡山県がダイオキシンを測定しています。平成25年度に行った4項目122地点での測定結果によると、環境基準を満たしていました。

環境基準達成状況（平成25年度）

種類	資料採取場所	測定値	環境基準	単位
大気	山下地内	0.012	0.6以下(年間平均値)	pg-TEQ / m ³
河川水質	吉井川嵯峨堰	0.021	1以下(年間平均値)	pg-TEQ / l
地下水質	津山市奥津川	0.017	1以下(年間平均値)	pg-TEQ / l
土壌	津山市奥津川	0.0048	1,000以下	pg-TEQ / g

資料 岡山県環境白書平成26年版

森林・・・

市面積の約6割が森林に覆われて、そのうち約2/3を人工林が占めています。

岡山県内の市町村で4番目に多い比率となっており、林業従事者の減少などの問題がありますが、計画的な間伐を行う必要があります。

(単位: ha)



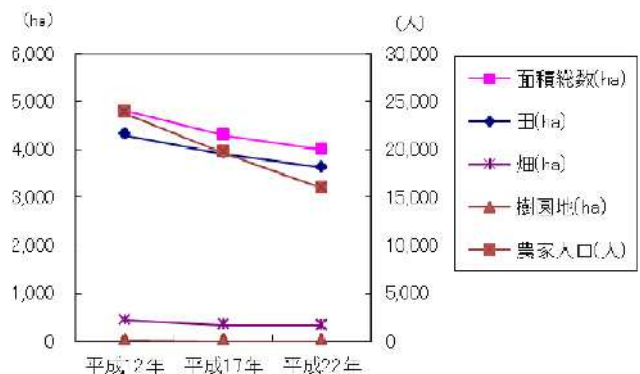
資料 固定資産概要調査

農地・・・

後継者不足により農業者が減少するにつれ、経営耕地面積は減少しています。

これは全国的な傾向であり、各地で農地の活用・保全に向けた取組みが始まっています。

経営耕地面積・農家人口



平成12、17年は現在の市域に組み替えたもの

資料 農林業センサス

国定公園・自然保護地域・・・

津山市は、その大半が森や農地で占められており、吉井川がまちの中心部を流れるなど、自然に恵まれたまちです。

この自然を守るため、次の地区について国・県・市は、それぞれ、公園、自然保護地域として指定しています。

自然公園法、岡山県立自然公園条例、岡山県自然保護条例、津山市環境保全条例に基づき指定。

自然公園法に基づく国定公園

名称	所在地	指定年月
氷ノ山後山那岐山国定公園	阿波、大岩、大吉、奥津川、加茂町青柳、 加茂町倉見、加茂町黒木、加茂町知和	昭和44年4月

岡山県立自然公園条例に基づく県立自然公園

名称	所在地	指定年月
湯原奥津県立自然公園	加茂町倉見	昭和45年5月

岡山県自然保護条例に基づく郷土自然保護地域

名称	所在地	面積 (ha)	指定年月
矢筈山地域	加茂町知和・加茂町山下	84.7	昭和57年3月
中山神社の社叢 <small>しゃそう</small>	一宮	6.78	平成4年3月

岡山県自然保護条例に基づく郷土記念物

名称	所在地	指定年月
山形八幡神社の森	新野山形	昭和62年3月
物見神社の社叢 <small>しゃそう</small>	加茂町物見	平成13年3月
宝蔵寺の森	加茂町齋野谷	平成16年3月

津山市環境保全条例に基づく自然環境保護地区

名称	所在地	面積 (ha)	指定年月
黒沢山地域	東田辺・山方・上横野	613	昭和48年9月

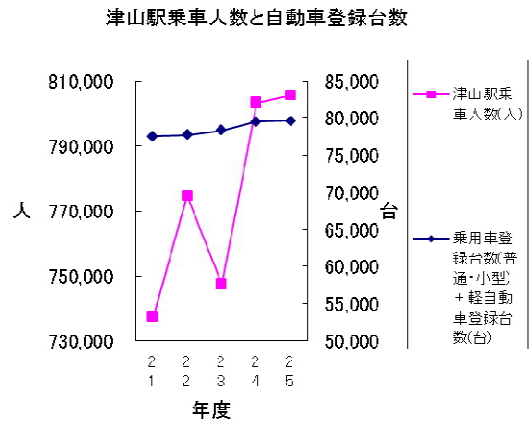
津山市環境保全条例に基づく郷土自然保護地区

名称	所在地	面積 (ha)	指定年月
神楽尾山地域	総社・小原・上田邑・一宮	693	昭和48年9月
神南備山地域	一方・井口・大谷・横山・八出・小桁・種	564	昭和48年9月

まち

交通・・・

市では、平成22年3月に「津山市地域公共交通総合連携計画」を策定し、維持継続できる地域公共交通体系づくりを基本方針として、利用者の増加を図るための取り組みを実施するとしています。



資料 西日本旅客鉄道・岡山運輸支局・市税制課

騒音・・・

騒音の発生源は多様ですが、自動車の走行も発生源のひとつです。

市では、毎年、都市計画区域内の道路に面する地域とそれ以外の地域で測定を行っていますが、平成26年度の結果は以下のとおりです。

騒音測定調査結果

環境基準対象区域

種別	測定地点数	時間帯	環境基準達成地点数	達成率
道路に面する地域	4	昼間	3	75%
		夜間	2	50%
上記以外の地域	4	昼間	4	100%
		夜間	4	100%

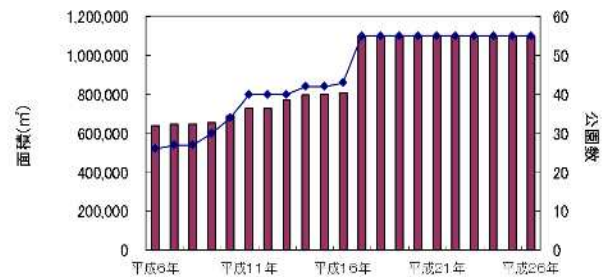
このほか11箇所において、騒音測定を実施している。

資料 市環境生活課

公園・・・

津山市は、古くからの歴史を有するまちであり、市内の緑地にも歴史的な特色が感じられます。平成12年3月に制定された『緑の基本計画』に基づき、津山市の歴史的風土や良好な自然環境等の地域の特徴をいかした整備が進んでいます。

都市公園の状況



平成16年度までは津山地域の都市公園数・面積、
平成17年度以降は全域の都市公園数・面積。

資料 市公園緑地課

緑地公園の状況

名称	面積 (ha)	施設
グリーンヒルズ 津山	25	駐車場 800 台、リージョンセンター (1,668 m ²)、レストラン (407 m ²)、フラワーガーデン、ウォーターガーデン、野外ステージ、トリムの森のわんぱく城、花時計他

資料 市公園緑地課

その他公園の状況

区分	所在	面積 (m ²)	施設
兼田児童公園	川崎	3,300	広場、遊具、修景施設
塔中コミュニティ公園	加茂町塔中	2,493	〃
人咲く・水と森の郷 川の学校公園	加茂町公郷	9,000	〃
竹之下レインボー園地	阿波	1,349	広場、修景施設
釜森公園	阿波	2,806	広場、ゲートボール場、修景施設
一ノ渡公園	阿波	814	広場、修景施設
ホテルの里公園	宮部上	15,687	広場、簡易炊事棟、キャンプ場
花と溪流の里公園	八社	5,355	修景施設、遊歩道
油木上公園	油木上	4,074	広場、修景施設
計	9ヶ所	44,878	

資料 市公園緑地課

ひと

人口・・・

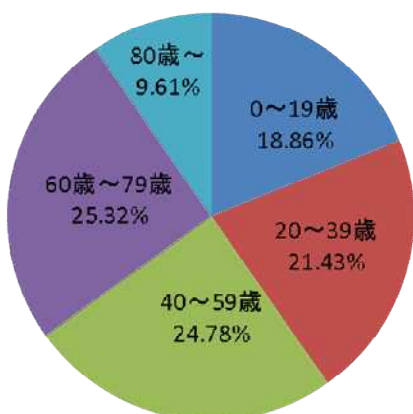
平成17年、平成22年の国勢調査によると、人口は微減傾向にあり、少子高齢化が進んでいます。

人口の状況

	合計	男	女
平成17年	110,569	52,418	58,151
平成22年	106,788	50,787	56,001

資料 国勢調査

年齢別総人口



0～19歳	19,752
20～39歳	22,442
40～59歳	25,952
60～79歳	26,517
80歳～	10,060
合計	104,723

平成27年1月1日現在。

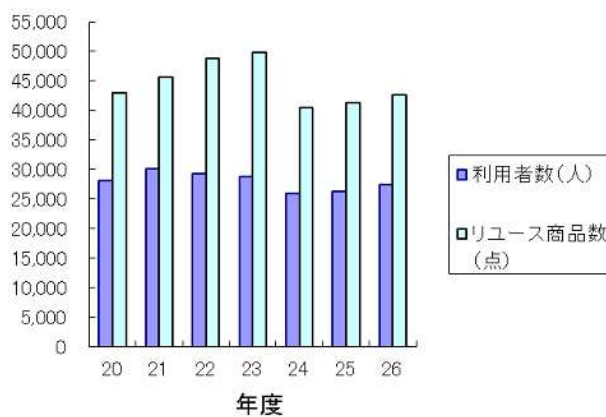
資料 市市民課

市民の環境活動への関心・・・

市民の環境活動への関心の度合いを数値的に把握することは難しいことですが、リユースプラザ津山「くるくる」の運営状況がそれを示すひとつの指標と考えられます。

26年度は利用者数、リユース商品数ともに微増となりましたが、平成28年度からは津山圏域クリーンセンターのリサイクルプラザに「くるくる」の機能が移転されます。

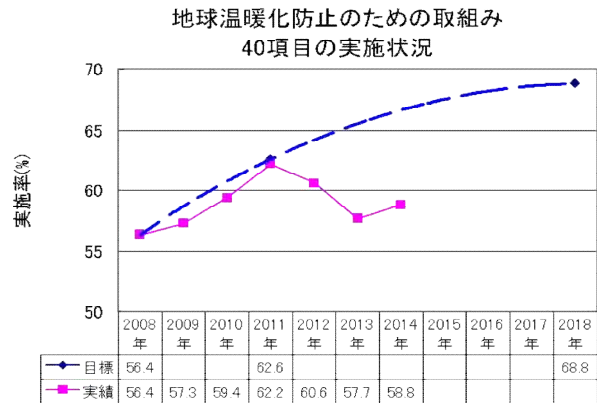
リユースプラザ「くるくる」の利用状況



資料 市環境事業所

市民の地球温暖化対策の取組み・・・

市では、「津山市地球温暖化対策地域推進計画」の取組み状況を図るため、毎年市民アンケートを行っています。そのアンケート結果によると、地球温暖化対策となる取組み 40 項目の実施率は前年調査より増加していますが、目標の数値には届いていません。家庭でできる取組みの普及啓発が必要なことが推察されます。



資料 市低炭素都市推進室

事業者の環境活動への関心・・・

事業者の環境活動への関心の度合いを測る「ものさし」のひとつとして、環境マネジメントシステムの取得状況が挙げられます。

それによると、多くの業種が市内で認証を取得し、環境配慮に対する関心が高まっていることが推察されます。

ISO14001 認証取得事業所の主な業種

金属加工	情報技術開発
繊維、繊維製品製造	医療、在宅介護支援、訪問介護、保健サービス
電子・電気部品製造	電子機械器具製造
紙製品製造販売	コンビニエンスストア
再生資源処理加工	ショッピングセンター
環境緑化製品製造販売	スーパーマーケット
高発泡プラスチック製品製造	

津山市内のISO14001 認証取得事業所の主な業種を掲載

津山市では、平成 24 年度より独自の環境マネジメントシステムを本稼働させ、市役所事務事業から発生する温室効果ガスの削減等、環境に配慮した事務所を目指した取組みを進めています。

津山市環境方針

- 基本理念

津山市は、中国山地の裾野に位置する、清冽と豊かな自然に囲まれた歴史と文化の薫るまちです。しかし、近年、私たちの社会経済活動の拡大に伴うエネルギーや資源の大量消費が要因となって、地球温暖化、オゾン層破壊といった地球規模の環境破壊や、里山里地など身近な自然の荒廃、廃棄物の増加等の様々な環境問題が発生しており、その対策は、急務となっています。

津山市では、このような様々な課題を解決し、次世代により良い環境を継承していくために、環境マネジメントシステムの運用を通じて、市の事務事業における環境への配慮に努めるとともに、職員一人ひとりが共通の認識のもと、環境負荷の低減に向けて継続的な改善に取り組みしていきます。

そして、市民、事業者及び市民団体、行政がともに行動し、津山市環境基本計画の目標である環境材料未後「超を積み いのちはくぐむ水、土、緑 未来につなぐ にぎわいのまち」の実現を目指します。
- 基本方針
 - 1) 一事業所として環境にやさしい事務事業を推進し、特に以下の項目を重点的に取り組みます。
 - ① 省エネルギー、省資源、廃棄物の削減及びリユース、リサイクル、グリーン購入を推進します。
 - ② 環境に配慮した公共工事を推進します。
 - ③ 環境保全や環境改善に関する施策を推進します。
 - 2) 事務事業による環境への負荷の低減に努め、汚染の予防と改善に取り組みます。
 - 3) 環境関連法規や条例、規程その他の津山市が合意する事項を遵守します。
 - 4) 環境目的、目標を定め、見直しを行いながら、環境マネジメントシステムの運用及び継続的改善に努めます。
 - 5) 環境方針は、市の職員、市民及び事業者等に対して周知するとともに、市のホームページ等を通じて広く一般に公表します。

平成 28 年 4 月 1 日

津山市長 宮地昭範

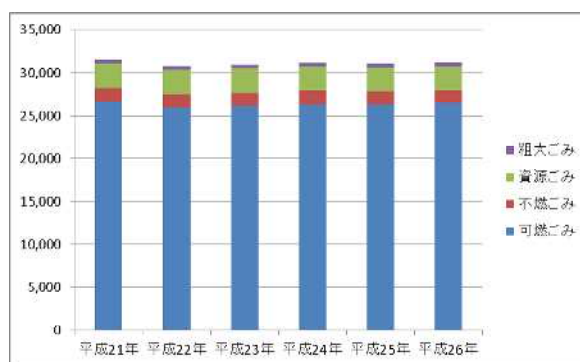
循環

ごみ・・・

ごみ最終処分場の埋立残余年数が少なくなり、「ごみ非常事態宣言」を発表したのは平成7年のことです。その後、可燃・不燃ごみの有料化（平成9年度）、プラスチック容器包装の回収（平成14年度）、青空リサイクルプラザの開設（平成15年度）により、不燃ごみの量は減少傾向となっています。

平成26年度における市民1人1日あたりのごみ量は、898グラムとなっており、全国や岡山県の数値より少なくなっています。

種類別ごみ量（t）



「資源ごみ」とは、プラスチック製容器包装・缶・ビン・ペットボトルなどの量です。

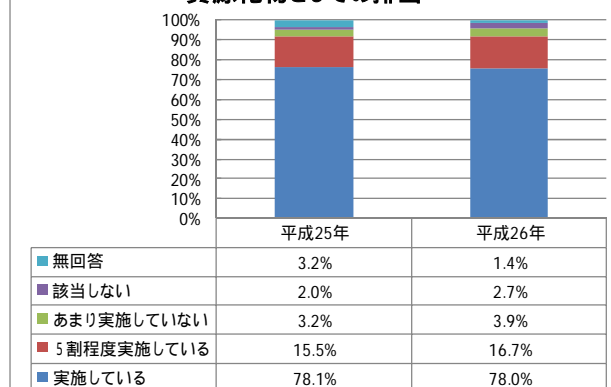
資料 市環境事業所

資源化物としての排出・・・

市では、町内の資源回収場所の他、廃品回収や青空リサイクルプラザ等で、資源化物の回収を進めています。

市民アンケートの結果によると、『資源化できるものは資源化物として排出しているか?』の問いに、78%以上の方が実施していると回答し、実践していることがうかがえます。

資源化物としての排出



資料 市低炭素都市推進室

第2章 平成26年度の環境基本計画の実施状況とその評価

1 年次報告の意義

この章では、平成26年度の環境施策の実施状況だけでなく、その成果や課題についても明らかにしています。これは、次年度以降の施策の継続的な改善を手助けするためのものです。

また、今回の報告では、行政の施策だけでなく、市民や事業者の環境活動についても同じ形式で報告しております。したがって、各主体の実施状況と関連を把握することができます。

2 「ビジョン」ごとのプロジェクトの実施状況と評価

ここでは、「ビジョン」ごとにプロジェクトの平成26年度目標・実施状況・目標達成状況・課題等を記載しています。

目標達成の評価	マーク	判定内容
		目標以上の成果を挙げている
		目標を概ね達成している
		目標達成に向け施策・事業が進んでいる
	x	目標達成に向けた取組みが不十分

自然

きれいな空と大地を守るまち・・・

プロジェクト	実施主体	目標	実施状況	目標達成	課題等
農業や薬品の適正使用及び処理の啓発	協働	広報回数：10回	JAつやまと市が連携して、農業の適正使用について農業事業者へ啓発するとともに、有線・無線放送及びチラシの配布による啓発を実施した。 広報回数：10回		
		農業の回収回数：1回	JAつやまが、期限切れ廃棄農薬の回収処分を11月に実施した。 農薬の回収回数：1回		
大気質の測定 / 光化学オキシダント	市・県	環境基準の達成	岡山県環境保健センター大気測定局からの測定データを活用し、光化学オキシダントの測定を行った。		
大気質の測定 / PM2.5	市・県	環境基準の達成	岡山県環境保健センター大気測定局からの測定データを活用し、PM2.5の測定を行った。チラシ配布による啓発も行っている。		

川面に吹く風の心地よいまち・・・

プロジェクト	実施主体	目標	実施状況	目標達成	課題等
生活排水による水質汚濁の防止	市	下水道普及率：36%	公共下水道整備事業を行い、平成27年3月現在で、普及率35.5%を達成した。		
		合併処理浄化槽の設置：280基	下水道等認可区域外への合併浄化槽の設置促進を行った。 合併浄化槽設置基数：240基		

プロジェクト	実施主体	目標	実施状況	目標達成	課題等
河川清掃の実施	協働	河川清掃 参加人数： 2500人	市内を流れる吉井川・宮川・蘭田川の河川清掃を、流域町内会各世帯に呼びかけ、6月1日に「第42回河川清掃」を実施した。事業者・行政等からのボランティアも含め2,300名が河川清掃活動に参加した。		河川清掃参加者の増加に向け、効果的な広報活動の検討が必要。
自然体験プロジェクト「水の学校」	協働	参加人数： 50人	大雨警報に伴い事業を中止した。	—	
公共下水道の啓発	市	下水道教室 参加親子数： 20組	大阪市内にある下水道科学館にて講習及び施設見学を実施した。 参加親子数：20組		業務の性質上、その効果について確認ができない。
		浄化センター見学人数： 200人	随時依頼により施設見学を受け付けている。 見学人数：159人		業務の性質上、その効果について確認ができない。
公共水域の水質測定及び公表	市	河川水質の環境基準の達成	主要河川、市内中小河川51地点及び中核工業団地周辺を調査し、おおむね良好な状況を確認した。		

心のふるさと里山里地の豊かなまち・・・

プロジェクト	実施主体	目標	実施状況	目標達成	課題等
植林地の管理	市・県	間伐面積： 530ha 森林整備面積： 4,500ha	民有林における間伐を推進した。 間伐面積：395.04ha 森林整備地域活動支援事業 森林整備面積：770ha	×	
市民農園の継続運営	協働	事業の実施 発生した残余区画の利用	一斉清掃、秋の収穫祭を開催した。 利用者36名 残区画1 広報つやまなどを活用し、随時募集している。		
自然体験プロジェクト「森の学校」	協働	参加人数： 各30人	久米山をフィールドとして、11月18日、2月14日に事業を実施した。 イベント参加者総数：95名		



まち

未来を拓く地産地消のまち・・・

プロジェクト	実施主体	目標	実施状況	目標達成	課題等
学校給食への地場産食材の導入促進	市	年間使用食品数(%) 40%	すべての学校給食施設で年間を通じて学校給食に地場産食材を使用しているが、冷夏の影響等により、使用割合が伸び悩んだ。 実施率：34.7%		地場産物は、天候により生産計画が順調にいかない場合もあるので、安定供給を行うためにも、生産者との連携を一層図る必要がある。

安全安心で活気があふれる楽しいまち・・・

プロジェクト	実施主体	目標	実施状況	目標達成	課題等
快適な音や匂いのある環境の整備	市	騒音についての環境基準の達成	11月に主要道路沿いと住宅地等の騒音測定を実施した。 (測定結果はp.5)		

環境と歩行者を優先するまち・・・

プロジェクト	実施主体	目標	実施状況	目標達成	課題等
公共交通の整備及び普及活動	市	公共交通体系の整備、乗車人数の増加	津山市地域公共交通会議の開催。 バスの乗車体験(親子エコフェスタ中)を実施し、公共交通の周知を行った。		ごんご線など一部路線は増加しているものの、全体としての公共交通利用者は減少している。



ひと

人や情報が交流するまち・・・

プロジェクト	実施主体	目標	実施状況	目標達成	課題等
市民参画、参加による環境基本計画の推進	協働	事業の実施	環境基本計画推進組織であるエコネットワーク津山の運営委員会に、市がオブザーバー参加し、運営支援を行った。 運営委員会への参加 10回		会員拡大に向けての対策づくり。
環境基本計画に係る年次行動計画・年次報告書の策定と公表	市	事業の実施	平成26年12月に環境報告書を発行し、年次行動計画・年次報告書を公表した。		

環境意識をみがき上げるまち・・・

プロジェクト	実施主体	目標	実施状況	目標達成	課題等
環境マネジメントシステムの普及	市	事業の実施	市独自の環境マネジメントシステムを運用し、監査等も行い全庁的に推進している。		目標の数値化（見える化）
各種環境啓発の推進	協働	事業の実施（廃品回収）	津山市子ども会連合会による廃品回収を行った。 青少年の分別・リサイクル意識が向上した。		子どもたちの自主性が、より期待される。
		事業の実施（自然環境学習、体験学習）	8月に野外キャンプ（2泊3日）を実施。イベントを通じて分別・リサイクルの意識及び自然の大切さを体験し環境意識が向上した。体験学習として、木工作やネイチャーゲーム、エコ実験ショーなどの体験を通して、環境問題を学んだ。		子どもたちの自主性が、より期待される。
	市	環境啓発の実施	親子エコフェスタ2014の運営を支援し、環境意識向上に向けた啓発活動を行った。		イベントでの集客を活用して、効果的な啓発活動を行った。
	事業者	市民への啓蒙活動の実施	（一財）津山市都市整備公社が、親子エコフェスタ2014等のイベントでリサイクル、ごみ分別の仕方について啓発を行った。		イベントでの集客を活用して、効果的な啓発活動を行った。

子どもの時から学び、共に育つまち・・・

プロジェクト	実施主体	目標	実施状況	目標達成	課題等
地域での環境学習や環境の取組みの推進	市	事業の実施	環境に関するラジオ番組をFMつやま、学生、環境に関する取り組みを行っている団体と作成した。		アスエコ等専門的に環境学習を行っている団体とのタイアップにより、効果的な環境学習の場の提供が必要。
	市	「子どもエコクラブ」の加入クラブ数の拡大	環境省が主宰する「子どもエコクラブ」の会員拡大を図り、同クラブ全国事務局から環境情報の提供を行った。 エコクラブ登録クラブ：2クラブ		子どもエコクラブの活動内容の充実。

夏28度



循環

ごみを減らし、資源の循環するまち・・・

プロジェクト	実施主体	目標	実施状況	目標達成	課題等
ごみ減量に関する各種取組みの推進	協働	「ごみゼロ新聞」発行回数：3回	ごみゼロ新聞編集委員会を開催し、「ごみゼロ新聞」を6月・10月・2月に発行。ごみ減量化に関する啓発を行った。 「ごみゼロ新聞」発行回数：3回		市民の意識向上には繰り返しの啓発が必要だが、それ故に内容に変化が少ない。市民の方が興味を持つ記事作成について検討する。
	市	施設見学受け入れ小学校数：21校	小学校を対象に施設見学を実施した。 施設見学受け入れ小学校数：23校		学んだことを実践してもらおうよう促すことが必要。
リユースに関する各種取組みの推進	協働	「くるくる」利用者数：30,000人	利用者数は目標値をやや下回る数で推移しているが、提供品や売却収集は伸びてきている。 利用者数：27,473人		開設後15年が経過。認知度は高いと思われるが、効果的な広報活動による利用促進を図る。
リサイクルに関する各種取組みの推進	市民	町内リサイクルの推進事業実施	回収量はH25より約3%の減少と横ばい状態。 常時啓発を行い、推進委員への研修なども実施した。		H27から稼働する新施設での分別等の注視が必要。
	市	青空リサイクルプラザの継続実施 回収量：300トン	昨年より約46tの減少であるが、その大部分は古紙類の減少であり、ITの進展によるペーパーレス化や民間古紙回収BOXの設置、荒天による開催の中止によるものではないかと推察。 回収量：258トン		古紙・古布をリサイクルするために継続した広報・啓発を行う。
		民間集合住宅の入居者に対するリサイクル活動の啓発	不動産管理事業者の協力を得て、民間集合住宅の入居者に対し、9月と3月にリサイクルカレンダーを配布した。		ごみ減量、リサイクル推進のため、広報・啓発を行う。
		生ごみ処理機補助制度の継続実施 補助件数：電気式生ごみ処理機116台 コンポスト容器189個	電気式生ごみ処理機は予算額いっぱいの補助件数であり、市民の要望が高い。ただ、コンポストの方は前年より減っている。理由は不明だが注視が必要。 補助件数： 電気式生ごみ処理機62台 コンポスト容器112個		生ごみの減量等には、引き続き取り組むことが必要であり、その推進手段の一つである当補助事業も積極的に活用されるような啓発等が必要。
身近な公共スペースの環境美化活動の推進	協働	市内幹線道路中心に一斉清掃の実施	8月24日に町内会、その他団体の計1,700名が参加し、道路清掃を実施した。		今後とも道路愛護月間の運動として継続していく。



エネルギー自立を目指すまち・・・

プロジェクト	実施主体	目 標	実 施 状 況	目標達成	課題等
省エネルギーの普及啓発 新エネルギーの普及啓発	協 働	普及啓発イベントの実施	6月8日に行われた「親子エコフェスタ2014」での啓発を行った。 イベント参加者数：約1,300人		継続的な普及啓発の実施。
	市	省エネルギー啓発の実施	広報つやま・ホームページなどを通じて、「クールビズ」「ウォームビズ」「うちエコ！」などの省エネルギー啓発を行った。 また、間引き照明やエレベーターの利用制限等の取り組みを全庁で実施。		今後も夏季・冬季の節電等を全庁的に推進する。

第3章 平成27年度の行動計画

1 年次行動計画の意義

この章では、第1章で述べた環境将来像の実現に向けて、平成27年度の環境施策にかかる計画を示しています。計画策定にあたっては、平成26年度の環境基本計画の実施状況とその評価を基に、より事業効果を上げられるよう、計画の継続的な改善に努めました。



第3章 平成27年度の行動計画
2 「ビジョン」ごとの年次行動計画 … 「自然」

環境将来像 (ビジョン)		プロジェクト	実施主体	事業内容	目標
水、土、緑、未来に 刻を積み、いのちを つなぐまち	きれいな空と大地を 守るまち	1 農業や薬品の適正使用及び 処理の啓発	協働	JAつやまと市が連携して、農業の適正な使用・ 処理について市民・事業者・農業事業者へ広報 を行う。 JAつやまが、期限切れ廃棄農薬の回収処分を 実施する。	広報回数：10回 農薬の回収回数：1回
		2 大気質の測定	市・県	岡山県環境保健センターの大気測定局の測定 データを活用し、光化学オキシダント、PM2.5の 測定を行う。	環境基準の達成
	川面に吹く風の心地よいまち	3 生活排水による水質汚濁の防 止	市	公共下水道整備事業を継続実施する。 下水道等認可区域外へ合併浄化槽の設置促 進。	下水道普及率：36% 合併処理浄化槽設置基数：300基
		4 河川清掃の実施	協働	河川清掃を継続実施する。	河川清掃参加人数：2,300人
		5 自然体験学習の実施	協働	自然体験プロジェクト「水の学校」の参加を小学 校に呼びかけ、継続実施する。	参加人数：50人
		6 公共下水道の啓発	市	夏休み親子下水道教室を開催する。 浄化センターの見学を受け入れ、下水道の役割 と啓蒙を図る。	下水道教室参加親子数：20組 浄化センター見学人数：150人
		7 公共水域の水質測定及び公 表	市	主要河川及び市内中小河川の水質測定を継続 実施する。	河川水質の環境基準の達成
	心のふるさと里山 地帯の豊かなま ち	8 間伐などによる植林地の管理	市・県	民有林の間伐を継続実施する。 森林整備地域活動支援事業を継続実施する。	間伐面積：630ha 森林整備面積：1,000ha
		9 市民農園の継続運営支援	協働	農業者以外の市民が野菜、草花等を栽培して、 自然に触れ合うとともに、農業に対する理解を深 めることを目的に平成15年度に開園した「市民農 園」を運営する実行委員会を支援する。	事業の実施 発生した残余区画の利用
		10 自然体験学習の実施	協働	自然体験プロジェクト「森の学校」を継続実施す る。	参加人数：各30人(合計60人)
	消滅する 未来を拓 く、地産地 消のまち	11 学校給食への地場産食材の 調達促進	市	学校給食における地場産食材の年間を通じての 使用割合を高める。	地場産物年間使用割合：47%

第3章 平成26年度の行動計画
2 「ビジョン」ごとの年次行動計画 … 「まち」

環境将来像 (ビジョン)		プロジェクト	実施主体	事業内容	目標
水、土、緑、未来に 刻を積み、いのちを つなぐまち	安全安心で活気 あふれるまち 住んでみたいまち	12 快適な音や匂いのある環境の 整備	市	主要道路沿いと住宅地等での騒音を測定し、騒 音の環境基準等との適合性を観測する。	環境基準の達成
		13 公共交通の整備及び普及啓 発	市	『津山市地域公共交通総合連携計画』に基づ く、公共交通体系の整備。	維持・継続できる交通体系の整備

第3章 平成26年度の行動計画
2 「ビジョン」ごとの年次行動計画 …「ひと」

環境将来像 (ビジョン)		プロジェクト	実施主体	事業内容	目標		
水、土、緑 刻を積み 未来につなぐに ぎわいのまち	人や情報が 交流するまち	14	市民参画、参加による環境基本計画の推進	協働	「環境基本計画推進組織エコネットワーク津山」の運営の支援を行う。	事業の実施	
		15	環境基本計画に係る年次行動計画・年次報告書の策定と公表	市	年次行動計画・年次報告書を策定し、公表する。	事業の実施	
	ライフスタイルを見直し、心と体の元気な エコ津山人の活躍するまち	環境意識をみがき上げるまち	16	環境マネジメントシステムの普及	市	津山市環境マネジメントシステムの継続的な運用。	事業の実施
			17	各種環境啓発の推進	協働	津山市子ども会連合会による廃品回収を行う。 子ども会など関係団体と協力して、自然環境学習や体験学習を行う。	事業の実施 事業の実施
		事業者			(一財)津山市都市整備公社が環境再生推進事業として、環境問題及びごみの減量、リサイクル等について市民を中心に広く啓蒙啓発活動を行う。	事業の実施	
		市			イベント等の開催に合わせ、広く環境啓発を行う。	事業の実施	
子供の時から学び、共に育つまち	18	地域での環境学習や環境の取組みの推進	市	(公財)日本環境協会が主宰する「子どもエコクラブ」の会員拡大を図る。 環境活動を実行できる市民を育てるための環境教育プログラムを作成する。	事業の実施 事業の実施		

第3章 平成26年度の行動計画
2 「ビジョン」ごとの年次行動計画 …「循環」

環境将来像 (ビジョン)		プロジェクト	実施主体	事業内容	目標	
水、土、緑 刻を積み 未来につなぐに ぎわいのまち	ごみを減らし、資源の循環するまち	19	ごみ減量に関する各種取組みの推進	協働	ごみゼロ新聞編集委員会を開催、「ごみゼロ新聞」を発行する。	新聞発行回数:3回
				市	ごみ処理施設などの見学を受け入れ、市民・児童の環境学習を援助する。	施設見学受け入れ団体数:21校
		20	リユースに関する各種取組みの推進	協働	リユースプラザ津山「くるくる」を運営し、ごみとして出される物を減らすため、リユース(再利用)の推進を図る。移動「くるくる」を実施する。	利用者数:30,000人
				21	リサイクルに関する各種取組みの推進	市民
	市	青空リサイクルプラザを継続開催し、家庭で排出される再資源化物の回収を行う。 民間集合住宅の入居者に対し、収集カレンダーを配布する。 生ごみ処理機の補助事業を継続実施する。	回収量:250トン 事業の実施 補助件数:電気式生ごみ処理機133台 コンポスト容器195個			
エネルギー自立を目指すまち	22	身近な公共スペースの環境美化活動の推進	協働	「道路ふれあい月間」運動として、8月第4日曜日に市内幹線道路を中心に一斉清掃を行う。	事業の実施	
	23	省エネルギーの普及啓発 新エネルギーの普及啓発	協働	省エネルギー・新エネルギーについて、各種イベントなどで環境ヒーロー「津山太助となかまたち」を活用し、地球温暖化対策の普及啓発を行う。	事業の実施	

津山市の環境報告書

平成 2 7 年度版

平成 2 7 年 1 2 月発行

発行 津山市環境福祉部低炭素都市推進室

〒708-8501 津山市山北 520 番地

T E L (0868) 32-2051 (直通)

F A X (0868) 32-2158

e-mail : teitanso@city.tsuyama.okayama.jp

